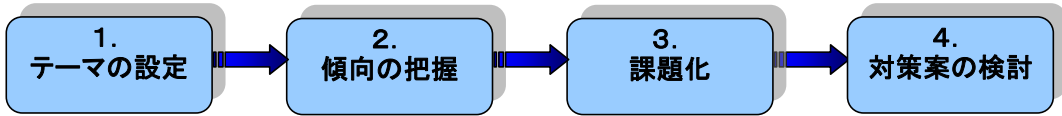


分析提案のステップ



1. テーマの設定

定性的に把握している事象の信憑性を、定量的に裏付けることや、マクロな視点で検討されていることを、ミクロな視点で定量化し、具体策を検討することを目的とします。

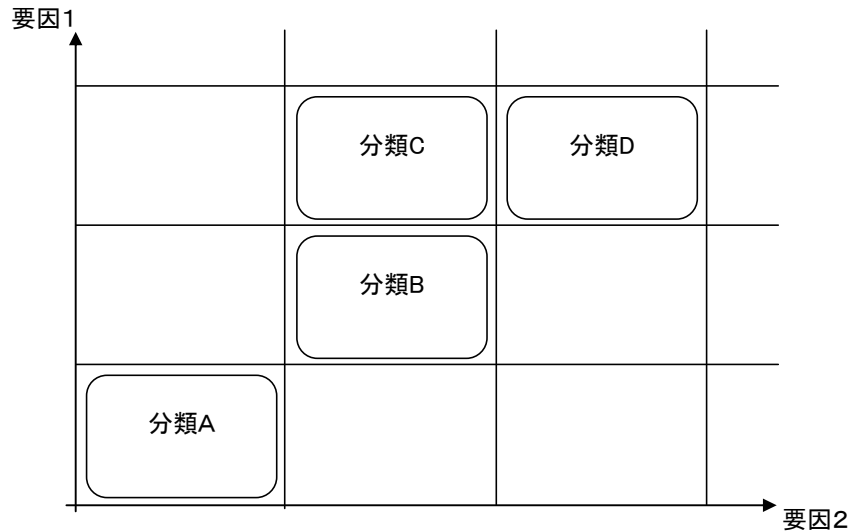
そのため、現在検討されている事項や定性的に把握している事象がテーマとなります。定量的な裏づけを行う場合は、「2. 傾向の把握」までとしますが、現在検討されている事項に関しては「4. 対策案の検討」までを行います。

基本的には、「退職率の抑止」などの人事に関連するテーマを設定ください。

2. 傾向の把握

年齢、性別、入社年数、学歴、職種、職級、既婚未婚、退職理由、・・・
人事部が所有している退職者データには様々なものがありますが、その中から、テーマに影響する要因を抽出し、傾向を把握します。

【(例)影響要因1と影響要因2とのクロス分析】



傾向を分類して把握します。

3. 課題化

現在検討されている事項をテーマとして設定した場合に行います。

お客様の状況に適合した課題を抽出するために、定量的な傾向をベースにヒアリングを行います。ヒアリングの内容と数値化した傾向をもとに、様々な視点で問題を把握し、課題を抽出します。

4. 対策案の検討

現在検討されている事項をテーマとして設定した場合に行います。

課題の一つひとつを丁寧に検討し、対策案をご提示いたします。
可能な限り、推奨する優先順位をつけ、改善のステップをご提示いたします。